

地域管理経営計画の概要

揖保川森林計画区（兵庫県）

1 森林計画区の概況

国有林野面積は14,679haであり、兵庫県西部の中国山地脊梁部を中心に比較的大きな団地が所在し、瀬戸内海沿岸部に小さな団地が散在しています。



計画区内の総土地面積に占める国有林野の面積割合は6%、森林面積に占める割合は8%となっています。

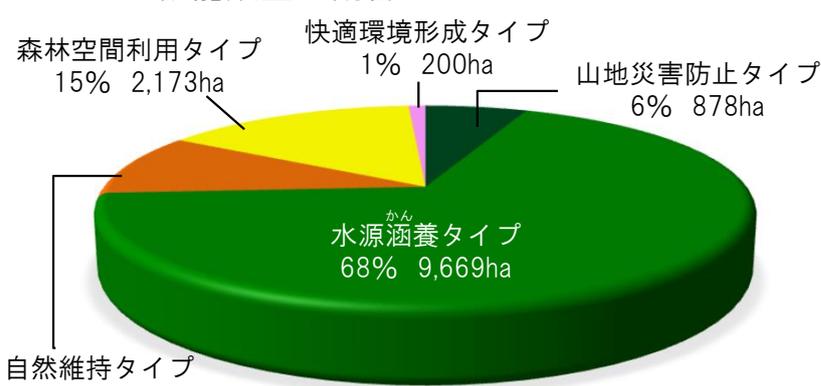
計画区内の国有林は、瀬戸内海国立公園、氷ノ山後山那岐山国定公園及び音水ちくさ県立自然公園等の一部を形成し、豊かな森林景観及び豊富な観光資源に恵まれていることから、登山や自然を探访するなど森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されています。

また、計画区北部に所在する保護林と丸山川、千代川森林計画区の保護林を連結する東中国山地緑の回廊を設定しており、森林生態系に配慮した管理経営を行っています。

森林計画区内における森林面積の割合



機能タイプの割合 国有林野面積14,679ha

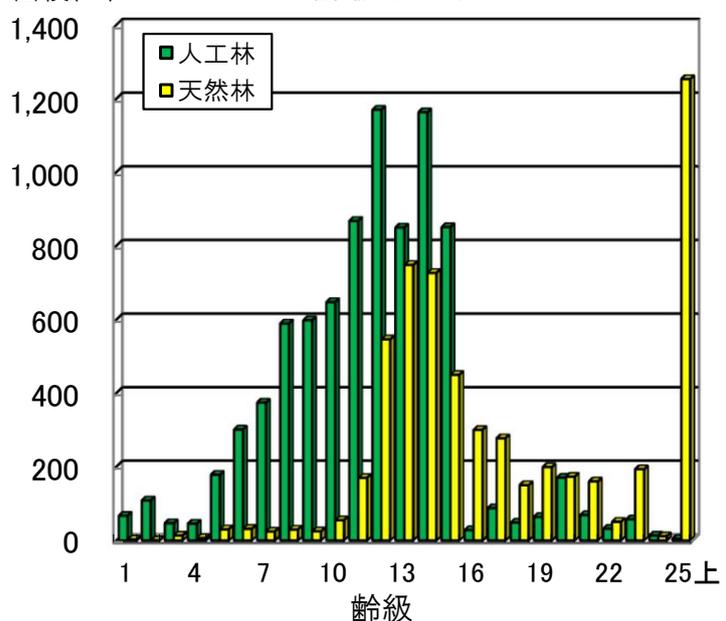


注1 各データは令和5年現在。

注2 四捨五入等により内訳と合計が合わない場合がある。

注3 齢級とは、5年をひとつくりにし、林齢1~5年生を1齢級、6~10年生を2齢級、以下、3齢級、4齢級と続く。

面積(ha) 齢級別面積



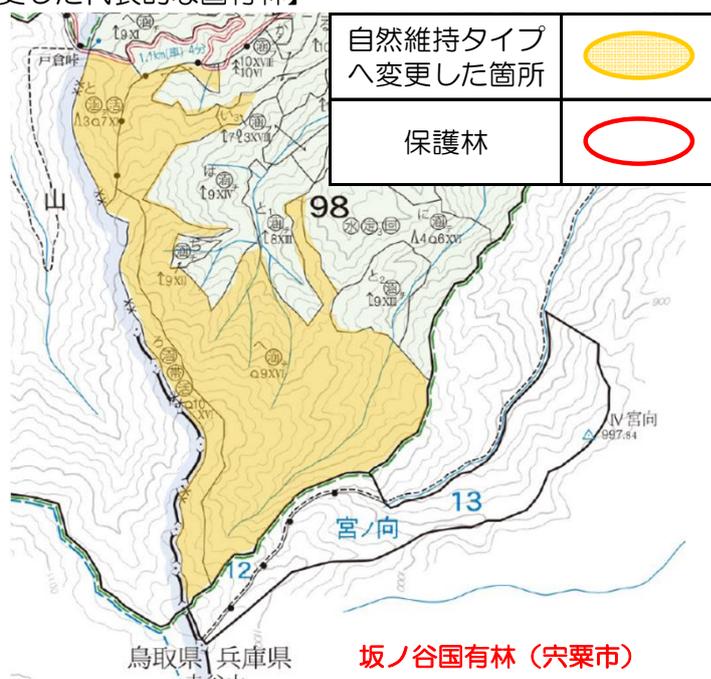
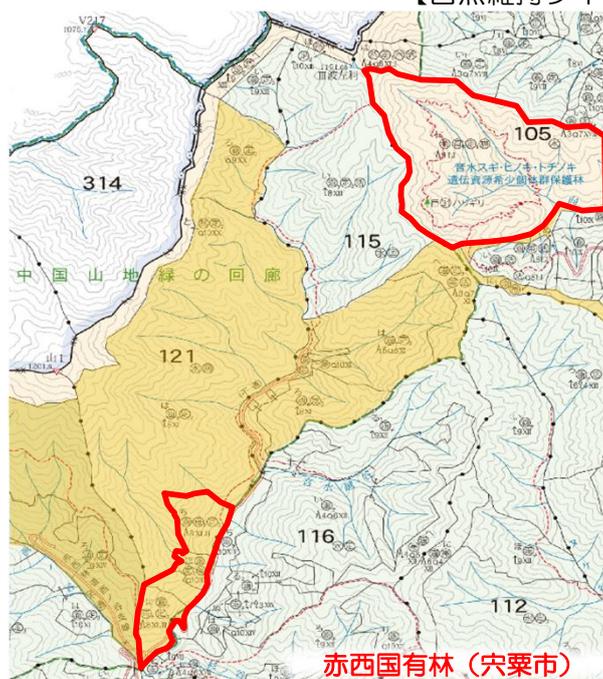
2 計画策定にあたってのポイント

(1) 地域を代表する自然環境を形成する国有林野等の機能類型の変更

計画区北西部の脊梁地帯に位置する、自然度の高い植生を有する国有林について、機能類型を「自然維持タイプ」に変更し、東中国山地緑の回廊や保護林と一体的に保全・管理します。

機能類型	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	変更前の機能類型
自然維持タイプ	1,459.38	662.60	+796.78	水源涵養タイプ 山地災害防止タイプ

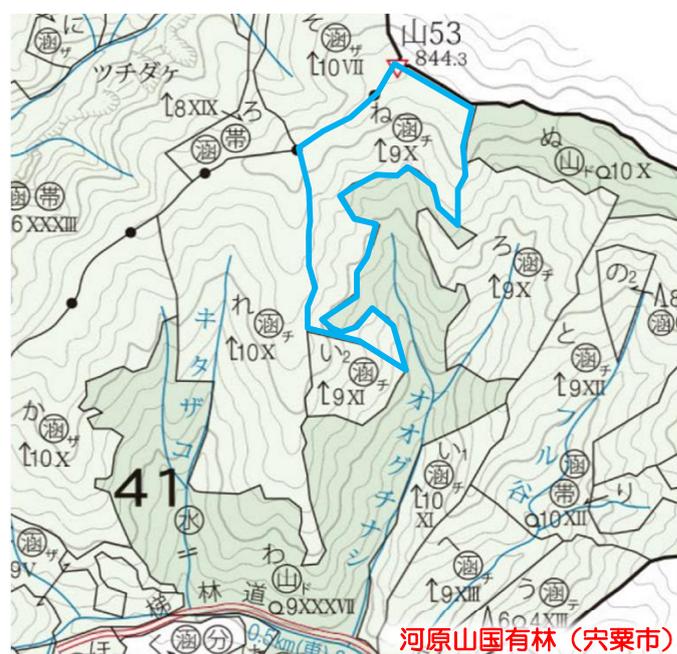
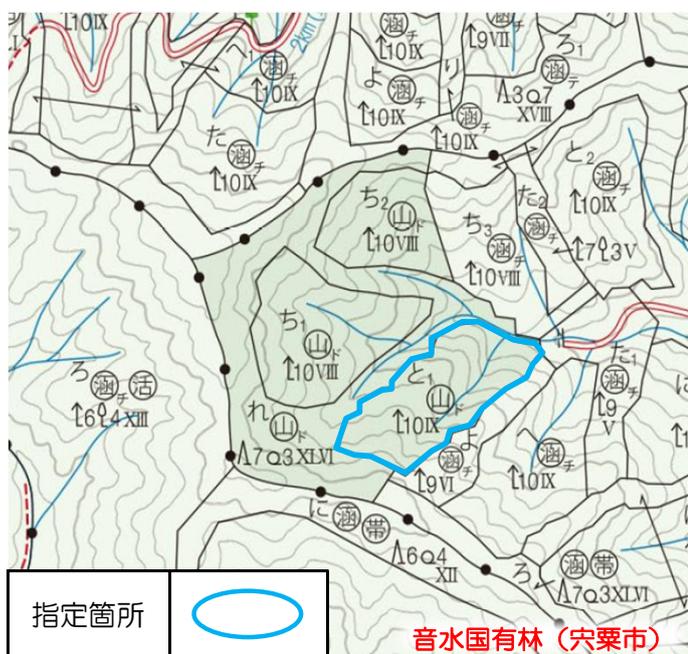
【自然維持タイプへ変更した代表的な国有林】



(2) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定

山地災害の発生により人命・施設への被害のおそれがあると認められ、かつ、急傾斜地にある又は地形等から森林作業道等の作設が不適切であることが明らかなる森林については、「森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要のある森林」として計画区内で10.92haを指定し、搬出の方法は原則として架線集材によることとします。

【森林の土地の保全のため搬出方法を特定する必要のある森林として指定した代表的な国有林】



3 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

主要事業量（令和6年度～令和10年度：5か年）

森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、2,357ha（31.0万㎡）の間伐を実施し、間伐材の有効利用に努めます。

また、36ha（1.8万㎡）の主伐を実施します。

事業区分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主伐	36ha（18,375㎡）	90ha（38,646㎡）	シカ被害地の増大による主伐指定の抑制
	間伐	2,357ha（310,049㎡）	2,361ha（282,538㎡）	材積の大きい林分の間伐指定に伴う面積減・材積増
更新総量	人工造林	187.03ha	232.28ha	主伐の減少に伴う減
	天然更新	—	—	—
保育総量	下刈	765.66ha	819.06ha	人工造林の減少に伴う減
	除伐	163.70ha	161.38ha	対象箇所増加に伴う増
林道事業	開設	1,651m	3,001m	森林整備箇所に応じた減
	改良	610m	807m	修繕延長の減少に伴う減
治山事業	保全施設	12箇所	7箇所	復旧が必要な荒廃地の増加に伴う増
	保安林の整備	8.98ha	2.77ha	整備対象森林の増加に伴う増

注1 主伐とは、利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり伐採した後に更新を行う。

注2 間伐とは、育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。

注3 更新とは、伐採等により樹木がなくなった箇所において、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が替わること。

注4 除伐とは、育てようとする樹木の生長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

4 国有林野の維持及び保存に関する事項

（1）ニホンジカ等の被害対策

本計画区では、ニホンジカの生息密度が高く、植栽木や下層植生への食害が発生していることから、防護柵や幼齢木保護管の設置等の被害対策を行うとともに、自治体等と連携して、わな捕獲等を行います。

また、地域と一体となった捕獲技術等の普及を図るため、民有林関係者の方々を対象とした現地検討会の開催等に取り組みます。

【シカ捕獲技術現地検討会】

【囲いわなで捕獲したニホンジカ】



札幌山国有林（たつの市）



本谷国有林（宍粟市）

(2) 保護林

本計画区では、令和5年度に希少個体群保護林を1か所新設し、計5か所の保護林を設定しています。

これらの保護林は、地域を代表する自然植生及びその遺伝資源を保護しており、モニタリングや巡視等を行いながら厳格に保護・管理しています。

【赤西スギ・トチノキ・シオジ等希少個体群保護林（新設）】

【保護林内の直径190cmの天然スギ】



赤西国有林（宍粟市）



赤西国有林（宍粟市）

名称	面積 (ha)	特徴	国有林名 (市町村)
氷ノ山・三の丸生物群集保護林	159.37 [384.85]	日本海側における西限付近のブナ・オオバク・ロモン群落の天然林の保護	坂ノ谷 (宍粟市)
音水スギ・ヒノキ・トチノキ 遺伝資源希少個体群保護林	48.48	中国地方におけるスギ、ヒノキ、トチノキ等の林木遺伝資源の保存	音水 (宍粟市)
音水溪谷イヌブナ・ミズナラ 希少個体群保護林	209.35	中国地方における暖帯林と温帯林をつなぐ地帯にみられるイヌブナ林の保護	音水 (宍粟市)
赤西スギ・トチノキ・シオジ等 希少個体群保護林（新設）	13.69	宍粟地方を代表する高齢級スギ天然林と混交する溪畔樹種等の保護	赤西 (宍粟市)
音水モミ・ブナ・ミズナラ等 遺伝資源希少個体群保護林	9.70	モミ、ブナ、ミズナラ、トチノキ、クリ等の林木遺伝資源の保存	音水 (宍粟市)

注 生物群集保護林の[]は、円山川森林計画区の面積を含めた面積。

(3) 緑の回廊

個々の保護林等を連結する「緑の回廊」を設定して、野生生物の生育・生息地の確保と相互交流を可能とし、より効果的に森林生態系の保護・保全を図ります。

本計画区においては、円山川、千代川森林計画区と、音水、赤西、坂ノ谷の保護林を連結する「東中国山地緑の回廊」を1,510ha設定しています。



坂ノ谷国有林（宍粟市）

5 林産物の供給に関する事項

木材の安定的な取引関係の確立に関する事項

列状間伐、路網、高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進するとともに、自然条件・社会的条件を考慮して主伐を実施し、木材供給に取り組みます。

また、伐採・搬出した木材を製材工場等の需要者に直接販売する「国有林材の安定供給システム販売」を推進することにより、地域における計画的かつ安定的な木材供給体制の構築に努めます。

【ハーベスタによる伐採・造材作業】



【フォワーダへの積載作業】



【トラックへの積込作業】



【木材市場での委託販売】



6 国有林野の活用に関する事項

レクリエーションの森

本計画区では、「レクリエーションの森」である滝谷・大成山野外スポーツ地域が、特に景観等の優れている「日本美しい森お薦め国有林」に選定されています。

滝谷・大成山野外スポーツ地域は、混交林と林内のため池とのコントラストが美しく、四季折々の素晴らしい風景を楽しむことができます。

坂ノ谷風景林は、県内屈指のブナ林と渓谷の調和のとれた風景が美しく、初夏の新緑や秋の紅葉の時期には遠方から多くの方が訪れます。

【滝谷・大成山野外スポーツ地域】



【坂ノ谷風景林】

